

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成20年11月6日(2008.11.6)

【公表番号】特表2008-528701(P2008-528701A)

【公表日】平成20年7月31日(2008.7.31)

【年通号数】公開・登録公報2008-030

【出願番号】特願2007-554268(P2007-554268)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/445 (2006.01)

C 0 7 D 211/94 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/445

C 0 7 D 211/94

【手続補正書】

【提出日】平成20年9月17日(2008.9.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

伸長因子 - 1デルタ、A D A M 1 2、ペルオキシソーム増殖因子活性化受容体 - 、低酸素症誘起因子アルファサブユニット、スーパーオキシドジスムターゼ2、脱共役タンパク質2、シクロオキシゲナーゼ1、分裂促進因子活性化タンパク質キナーゼキナーゼ5、グルタチオンS-トランスフェラーゼM3、P E R P、及び脳タンパク質I3からなる群から選択される、ガンに関連する1つ以上のタンパク質の分子内レベルを変えるための、有効量の4-ヒドロキシ-2,2,6,6-テトラメチルピペリジン-1-オキシルを含む医薬組成物。

【請求項2】

前記ガンに関連するタンパク質が、伸長因子 - 1デルタ、A D A M 1 2、ペルオキシソーム増殖因子活性化受容体 - 、低酸素症誘起因子アルファサブユニット、スーパーオキシドジスムターゼ2、脱共役タンパク質2、及びシクロオキシゲナーゼ1からなる群から選択され、前記ガンに関連するタンパク質のレベルが低下される、請求項1に記載の医薬組成物。

【請求項3】

前記ガンに関連するタンパク質が、分裂促進因子活性化タンパク質キナーゼキナーゼ5、グルタチオンS-トランスフェラーゼM3、P E R P、及び脳タンパク質I3からなる群から選択され、前記ガンに関連するタンパク質のレベルが増大される、請求項1に記載の医薬組成物。

【請求項4】

前記ガンが、食道ガン、肝細胞ガン、結腸直腸ガン、前立腺ガン、肺ガン、胃ガン、腎細胞ガン、骨ガン、乳ガン、子宮頸ガン、脳腫瘍、及びガン抑制遺伝子p53に関連するガンからなる群から選択される、請求項1～3のいずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項5】

伸長因子 - 1デルタ、A D A M 1 2、ペルオキシソーム増殖因子活性化受容体 - 、低酸素症誘起因子アルファサブユニット、スーパーオキシドジスムターゼ2、脱共役タンパク質2、シクロオキシゲナーゼ1、分裂促進因子活性化タンパク質キナーゼキナーゼ5、グルタチオンS-トランスフェラーゼM3、P E R P、及び脳タンパク質I3からなる群か

ら選択されるタンパク質に関連するガンの進行を抑制するための医薬組成物であって、前記のタンパク質に関連するガンに関連する遺伝子の発現を変えるために有効な量の4-ヒドロキシ-2,2,6,6-テトラメチルピペリジン-1-オキシルを含む医薬組成物。

【請求項6】

前記遺伝子が、伸長因子 - 1 デルタ、A D A M 1 2、ペルオキシソーム増殖因子活性化受容体 -、低酸素症誘起因子アルファサブユニット、スーパーオキシドジスムターゼ2、脱共役タンパク質2、及びシクロオキシゲナーゼ1からなる群から選択され、前記遺伝子の発現が低下される、請求項5に記載の医薬組成物。

【請求項7】

前記遺伝子が、分裂促進因子活性化タンパク質キナーゼキナーゼ5、グルタチオンS-トランスフェラーゼM3、P E R P、及び脳タンパク質I3からなる群から選択され、前記遺伝子の発現が増大される、請求項5に記載の医薬組成物。

【請求項8】

タンパク質に関連する前記ガンが、食道ガン、肝細胞ガン、結腸直腸ガン、前立腺ガン、肺ガン、胃ガン、腎細胞ガン、骨ガン、乳ガン、子宮頸ガン、脳腫瘍、及びガン抑制遺伝子p53に関連するガンからなる群から選択される、請求項5に記載の医薬組成物。